

原発をなくす全国連絡会連続学習会”第10弾”

「原発事故から4年9ヶ月

福島はいま」

～安倍政権の福島県民切り捨て政策を斬る～



福島第一原発事故の発生から4年8ヶ月が経過しますが、福島では、いまだ県内外に10万人余が避難生活を強いられ、放射能汚染により住み慣れた家や故郷を奪われたままです。自宅に帰れる見通しは立っていません。劣悪な仮設住宅等での避難生活が長引く中で、体や心の健康を害し、震災関連死が、地震・津波の直接被害で亡くなった方を上回っており、深刻さが増えています。にもかかわらず、政府は帰還困難区域以外は2017年3月までに避難を解除し、住民への補償はその1年後に打ち切ろうとしています。まさに棄民政策そのものです。

そこで、福島の地で住民のいのち・人権・くらしを守るために日夜奮闘されている、原発問題住民運動全国連絡センターの筆頭代表委員の伊東達也氏をお招きし、福島の深刻な現状をリアルに報告いただくと同時に、政府の福島県民切り捨て政策の問題点や今後の課題についてお話いただきます。ぜひ多くの方に福島の現状を共有していただけるよう参加を呼びかけます。

日時：2015年12月1日(火) 18:30～20:30

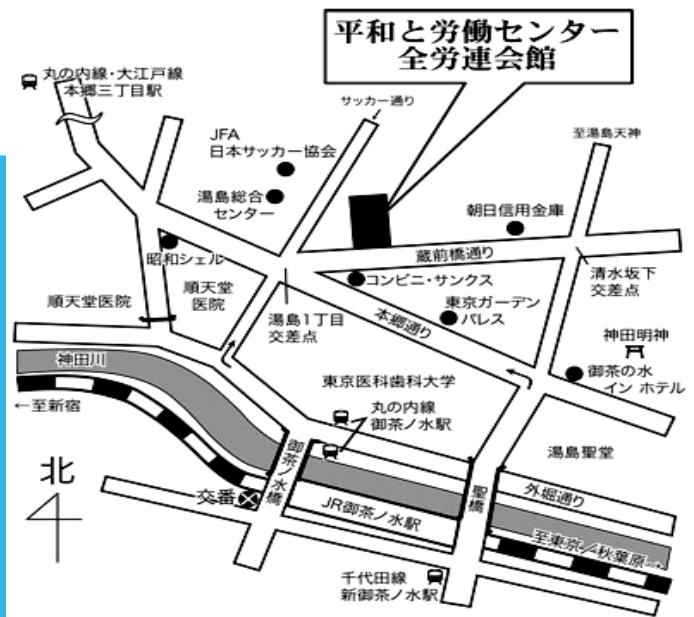
会場：全労連会館2Fホール(文京区湯島2-4-4)

☆アクセス: JR中央線「御茶ノ水駅」下車 徒歩7分

参加費：無料

講師：伊東達也氏

(原発問題住民運動全国連絡センター
筆頭代表委員)



主催：原発をなくす全国連絡会

連絡先：全日本民主医療機関連合会

TEL: 03-5842-6451

担当：稲原、木下興